

LabSVIFTのサービス

センサー自体や機器設置におけるバリデーションや校正サービスの他にも、「FDA 21CFR Part11」「ER/ES指針」への対応証明や「コンピューター化 システムバリデーション (CSV)」にも対応可能です。

FDA 21CFR Part11とは

米国FDA (Food and Drug Administration: 食品医薬品局)の「連邦法第21章第11条」として1997年3月発布。
医薬品の製造や保管等に関するデータ収集やモニタリングに関する記録を電子媒体に置き換える際の要求事項を規定化したものです。

ER/ES指針とは

厚生労働省 食品局長通知として発行された「医薬品等の承認又は許可等に係る申請等における電磁的記録及び電子署名の利用について」のこと。
薬機法にかかわる範囲での電磁的記録、電子署名について書かれたもので、日本版のFDA 21CFR Part11とされています。

コンピューター化システムバリデーション (CSV) とは

医薬品等の開発から製造において使用されるコンピューター化システムが、正しく開発され、期待されている結果を得られているかを検証し、ドキュメント化するものです。

校正証明書・検査成績書

品名	内訳	品番	メーカー希望小売価格(税別)
校正証明書	PTセンサー (0℃ 1点校正)	KM-ZLSFKOSEIDPT1	58,000円
	PTセンサー (-80℃、+5℃、+50℃ 3点校正)	KM-ZLSFKOSEIDPT3	122,000円
	サーミスタセンサー (5℃ 1点校正)	KM-ZLSFKOSEIDTM1	58,000円
	サーミスタセンサー (-40℃、+5℃、+40℃ 3点校正)	KM-ZLSFKOSEIDTM3	74,000円
	アナログコンバーター (0.1V、2.5V、5.0V 3点校正)	KM-ZLSFKOSEIANA3	17,000円
センサー検査成績書	—	KM-ZLSFKENSA	2,000円
トランスミッター検査成績書	—	KM-ZLSFKENSA	8,000円

ISO 15189とは

臨床検査室の品質と能力を国際的に保証するための国際規格です。この規格は、ISO/IEC 17025に医療特有の要求を加えた基準に基づき、文書審査や現地審査、試験データの確認、実技試験などによって評価されます。認証はJABなどの第三者認証機関が行い、有効期間は通常4年間(中間審査あり)です。また、ILAC(国際試験所認定協力機構)による相互承認により、国際的に高い通用性を持っています。このように、ISO 15189は臨床検査室の信頼性と国際的な競争力を支える重要な規格です。

⚠️ 設置環境に関するご注意

- 不安定な場所への設置は避けてください。落下による怪我や故障の原因となります。
- 高温、低温、多湿、直射日光、水のかかる場所、振動する場所への設置は故障の原因となります。
- トランスミッターは施設側のLAN回線に有線または無線で接続する必要があります。接続は施設側の規定に従ってください。
- ネットワーク通信障害により、データ欠損や温度警報メールが発信されない可能性があります。
- 温度警報メール受信時には、ファイアウォール等のネットワーク防御システム条件の確認が必要です。
- GEN3以外の測定対象機器の温度をモニタリングするには、トランスミッターに専用温度センサーまたは接点信号を有線で接続する必要があります。
- 無線通信状態は施設の状態によって異なります。必ず事前に通信状態をご確認ください。
- 製品の内容及び機器故障による測定データの保証はできませんので予めご了承ください。

- Wi-FiはWi-Fi Allianceの商標又は登録商標です。
- 当社では製品の内容物の補償は出来ませんので予めご了承ください。
- 本カタログ掲載商品の価格には、消費税・地方消費税・配送料・設置料・関連工事費などは含まれておりません。

●お問い合わせは

PHC株式会社

北海道営業所 TEL 03-4363-2211 FAX 011-251-3760
 東北営業所 TEL 03-4363-0909 FAX 022-215-5582
 首都圏営業所 TEL 03-5408-7277 FAX 03-5408-0873
 南関東営業所 TEL 045-978-5134 FAX 045-978-5150
 中部営業所 TEL 03-6698-1145 FAX 052-687-8399
 近畿営業所 TEL 06-6136-1415 FAX 06-6136-1449
 中四国営業所 TEL 03-6696-0250 FAX 082-222-8210
 九州営業所 TEL 03-6696-0244 FAX 092-291-5353

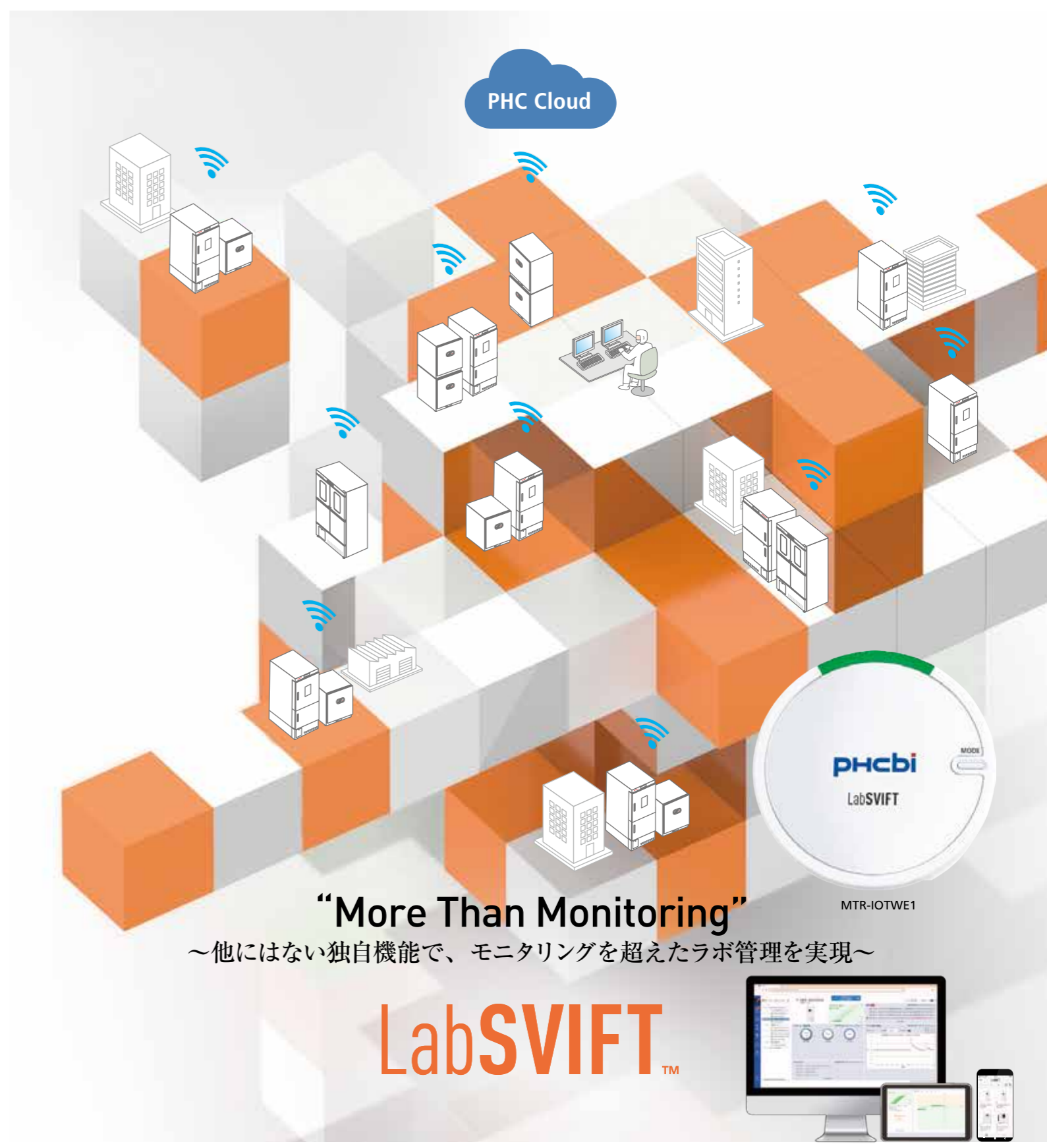
このカタログの記載内容は
2026年4月現在のものです。

2602 B 5860

- 製品の色は印刷物ですので実際の色と若干異なる場合があります。
- 製品の価格および仕様・定格・デザインは改善などのため予告なく変更する場合があります。
- 実際の製品には、ご使用の注意を表示しているものがあります。



IoTラボ管理ソリューション LabSVIFT™



“More Than Monitoring”
～他にはない独自機能で、モニタリングを超えたラボ管理を実現～

LabSVIFT™

本カタログ掲載商品の価格には、消費税・地方消費税・配送料・設置料・関連工事費・使用済み商品の引き取り費などは含まれておりません。



お困りごと

LabSVIFTで解決

ラボ運営のこんな場面にお悩みや困りごとありませんか？



夜間や休日の異常発生にすぐ対応できない

- ・無人時間帯に設備トラブルが発生しても、気づくのが遅れてしまう
- ・冷蔵庫の温度異常に気付かず、サンプルを廃棄したことがある

拠点の分かれた場所にある機器を一元管理したい

- ・複数のラボや施設に分散した機器の状態を効率的に把握したい
- ・遠隔地からでも機器の稼働状況や温度を管理したい
- ・機器が複数の拠点に分散しているため、管理が煩雑
- ・故障して初めて不具合に気づく

温度記録を手入力、記録ミスや作業負担が大きい

- ・温度記録やログデータを手動で整理するのが手間
- ・管理業務に時間が取られ、研究に集中できない
- ・法規制対応や監査準備の負担を軽減したい

「ラボの困った」に、もう悩まない。LabSVIFTがまるごと解決!!



異常を即時検知・通知し、迅速な対応をサポート

- ・異常時はメール、SMS、アプリ通知
- ・自動音声でアラート内容を案内し、設定済みの電話番号へ即時通知

複数拠点・機器の一元管理で効率化

- ・クラウドを活用し、PCやスマホから遠隔地でも全ての機器を1つの画面で一元管理
- ・ラボ毎にユーザーアカウント・機器を登録でき、効率的に管理が可能
- ・「ヘルスチェック機能※」は、機器の異常兆候を早期に検知し、トラブルの未然防止に貢献

※ヘルスチェック対応機器のみ

記録・管理を自動化し、信頼性と効率を両立

- ・To Do機能でメンテナンス作業を一元管理し、自動通知と履歴記録により作業漏れを防止
- ・温度記録や機器稼働データを自動で収集し、手作業を減らして日々の記録業務を効率化
- ・自動化されたデータ管理で必要なドキュメントを迅速かつ正確に作成し、監査対応を支援
- ・FDA 21 CFR Part 11準拠の監査証跡機能により、法規制対応や監査準備をスムーズに実施



LabSVIFT機能 & クラウドシステム

LabSVIFTは、単なるモニタリングにとどまらず、ラボ機器の状態監視、異常検知、メンテナンス管理までを一元化したクラウド型IoTラボ管理ソリューションです。効率的かつ安全なラボ運営を強力にサポートします。

主な特長

- 温度やCO₂濃度などの包括的なモニタリング機能
- ヘルスチェックと24時間365日のクラウド監視で機器を最適な状態に維持、運用効率化と負担軽減を実現
- Azureクラウド基盤による高い信頼性とセキュリティ

モニタリング

温度モニタリングに加え、デジタル接続で機器のテレメトリーデータを取得・監視できます。これにより、稼働状況の把握や異常検知が可能になり、運用効率の向上と監査対応をサポートします。

- ドアの開閉状況
- 警告/アラート
- アクセスログ (誰が、何を、いつ操作したか) ※GEN3対応機種のみ
- 閾値

- 取得可能なデータ
- 扉開閉状況
- CO₂/O₂濃度
- 閾値設定
- 警報の発報/解除
- ログイン/ログアウト履歴

ヘルスチェック ※ヘルスチェック対応機器のみ

機器内部の状態を常時モニタリングし、10段階でコンディションを可視化します。状態変化や劣化の兆候を早期に把握できるため、必要に応じて計画的なメンテナンスを実施可能です。状態が悪化した際は、「メンテナンス推奨リスト」や「Unhealthy予測日」が自動で表示され、推奨作業をチケットとして管理できます。これにより、突発的なトラブルやダウンタイムのリスクを低減し、安定した機器運用を実現します。

[チェック機能]

- ・機器の「ヘルス状態」を簡単に確認
- ・「異常状態」の即時通知を受信
- ・適切なタイミングで推奨されるメンテナンス作業にアクセス



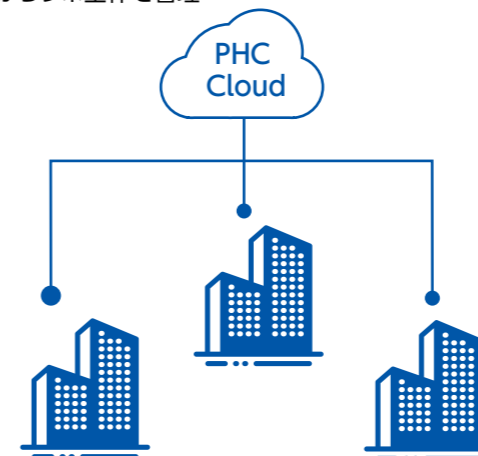
クラウドベース管理

24時間365日のモニタリング

クラウドベースのLabSVIFTシステムは、すべての接続された機器をマッピング、追跡、管理できる多機能なウェブアプリを通じて、継続的なモニタリングを可能

一元管理

ラボ機器のモニタリングを一元化することで、クラウドからラボ全体を管理



その他機能

監査・記録管理

操作ログやテレメトリーを自動保存し、ペーパーレス化を実現。監査準備を簡素化

通知・アラート管理

異常をメール/SMS/自動音声による電話通知で迅速共有

ダッシュボード

ダッシュボードは、ラボ内の機器の状態や測定値をリアルタイムで一覧表示し、色分けで異常や注意もひと目で把握できます。機器をまとめて管理でき、異常の早期発見や日々の運用に役立ちます。

レポート出力

PDF形式で即時・定期出力（時間別/日別/測定データなど）。ロケーションや機器単位で抽出可能

マップ機能

ラボ内のマップ上で、機器の場所と状態を色分け表示。異常や注意が発生した場所もすぐに分かり、現場対応がスムーズに行えます。

To Do管理

To Do管理は、清掃や点検など日常の作業をタスクとして登録・一覧管理。作業の予定・進捗・履歴を可視化し、抜け漏れ防止やチームでの情報共有に役立ちます。

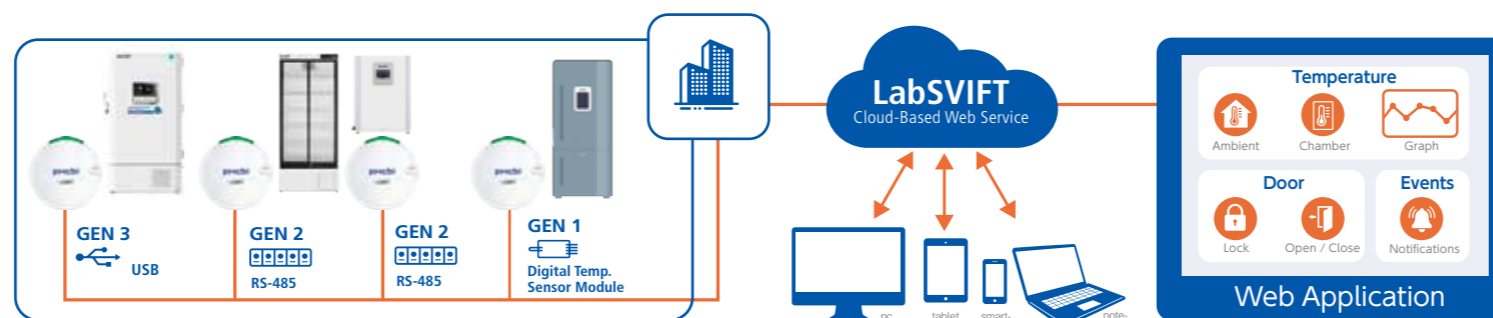
消費電力モニター ※対応機器のみ

機器の稼働情報から消費電力量と電気料金の目安を算出・可視化。電力使用量や機器ごとのトレンド把握により、省エネとコスト最適化、さらにESG対応をサポートします。また、機器の運用見直しや入れ替え検討にも役立ちます。

簡単な設置と幅広い互換性

簡単な設置 / 幅広い互換性

- ・1台の製品に1台の送信機を接続
 - ・USB接続するだけで簡単に利用可能 ※GEN3対応機種のみ
- 送信機は、お好みに応じてWi-Fiまたは有線LANを介してクラウドサーバーに接続します。





工事不要、準備は3STEP



分野別導入例

STEP3 (GEN.3機器接続の場合)

STEP1 動作環境の事前確認

- Wifi環境・周波数の確認
- ※販売店・当社担当が事前にお伺いします

STEP2 LabSVIFT本体 (トランスミッター) の接続準備

- トランスミッターを電源に接続
- ネットワーク設定
- 実験機器へトランスミッターを設置

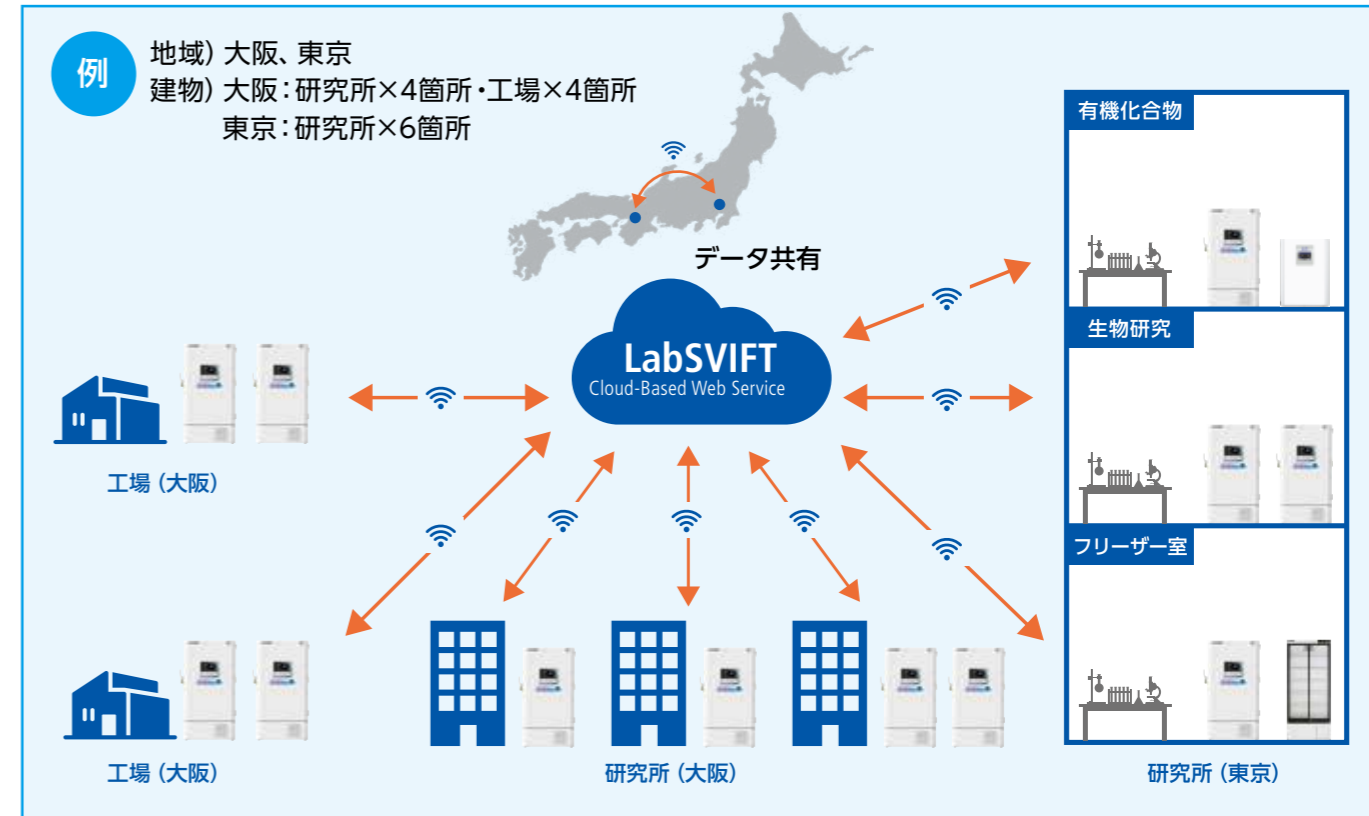
トランスミッター
付属 USB ケーブル白
MDF-DU703VHS1

STEP3 アプリ設定でモニタリング開始

- ブラウザアプリでいつでも、どこでも確認

ヘルスチェック
モニタリング

複数エリアに展開する大規模な施設



病院 (薬剤部・検査部)



LabSVIFT 構成例と参考価格

PHCbiのみならず他社機器も接続可能。機器の種類に対応する様々な接続方法

● LabSVIFTの概要: LabSVIFTは、PHCbi製品や他社機器をまとめてクラウド管理できるIoTソリューションです。

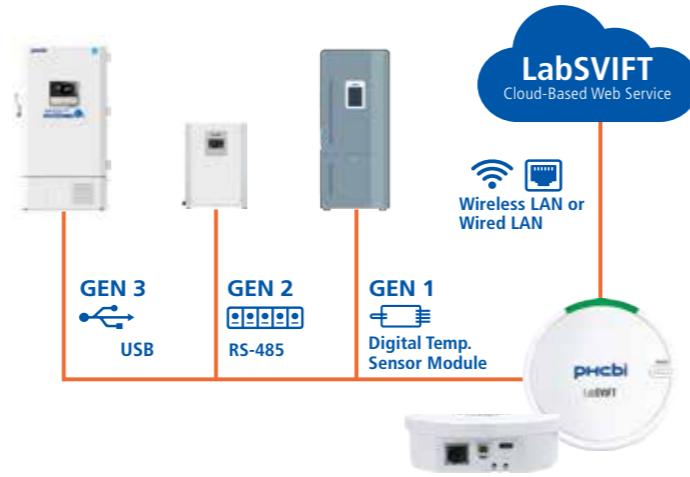
● 機器の世代と特徴:

GEN3 (最新機器) ・USB接続で簡単セットアップ

GEN2 (既存機器) ・MTR-480対応

GEN1 (旧型・他社製品) ・温度センサーなどで対応可能

接続方法	
USB接続	: GEN3
RS-485接続	: GEN2
デジタルセンサー	: GEN1
クラウド接続	: Wi-FiまたはLANでLabSVIFTに統合管理



LabSVIFTはGEN1～GEN3の各世代機器を1台のトランスミッターでWi-FiまたはLAN経由でクラウド接続し、同一プラットフォームで一元管理できます。

■ LabSVIFT 構成例 (BASIC プランの場合)

ケース1 GEN.3 機器 1 台 構成例			最新世代機器のみで構成
製品種類	GEN.3機器	計	参考価格: 105,000 円(税別)
トランスミッター	1台	1台	
年間クラウド費用	1台	1台	

※設置作業代はユーザーが設置される場合不要、PHC が実施する際には別途料金がかかります

ケース2 GEN.3 機器 1 台 + GEN.2 機器 1 台 構成例				新旧混在の機器を一括管理
製品種類	GEN.3機器	GEN.2機器	計	参考価格: 255,000 円(税別)
トランスミッター	1台	1台	2台	
インターフェースボード	-	1台	1台	
年間クラウド費用	1台	1台	2台	※設置作業代は別途お打ち合わせ時に決定

ケース3 GEN.2 機器 2 台 + GEN.1 機器 1 台 構成例				旧世代機器*も含めた柔軟な運用
製品種類	GEN.2機器×2	GEN.1機器	計	※ PHCbi 製または他社製品
トランスミッター	2台	1台	3台	参考価格: 449,000 円(税別)
インターフェースボード	2台	-	2台	
デジタル PT センサー	-	1台	1台	
年間クラウド費用	2台	1台	3台	

主な設置作業	内容
● ネットワーク設定	: 機器が正常に通信できるよう、ネットワーク環境の初期設定を行います。
● 機器設置	: 機器の設置および接続作業を行い、動作確認を実施します。
● WEB アプリケーション設定	: 必要なアプリケーションの設定を行います。

※詳しくは販売店にお問い合わせください。

仕様

品名	LabSVIFT トランスミッター	
品番	MTR-IOTWE1-PJ	
メーカー希望小売価格	87,000円(税別)	
外形寸法	直径: 120 mm × 高さ: 35 mm	
製品重量	205 g (乾電池含まず)	
ネットワーク仕様	無線 LAN(Wi-Fi) + 有線 LAN	
Wi-Fi 使用 CH	IEEE802.11a/b/g/n 2.4 GHz / 5 GHz	
Wi-Fi 5 GHz band	W52(36,40,44,48)	
Wi-Fi 2.4 GHz band	W53(52,56,60,64)	
Wi-Fi 2.4 GHz band 1~13	W56(100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140)	
Network認証	WPA2-Personal WPA2-Enterprise	
暗号化方式	WEP ON/OFF (Open)	
EAP認証モード	PEAP, EAP-TLS (WPA2-Enterprise)	
デジタル通信ポート(RS-485)	1	
L A N (RJ45 タイプ)	1	
Digital PT sensor/ Digital Thermistor sensor/ Analog converter 用ポート	2 ポート	
USB-C ポート	1	
入力電圧 / 電流	DC 5 V / 2 A	
最大消費電力	2.5 W	
使用電源	GEN.3 機器 (*) への設置時: USB ポートを介した電源供給 GEN.2, 1 機器 (*) への設置時: AC アダプター 乾電池駆動 (停電モード時のみ)	
使用環境条件	周囲温度: 0℃ ~ 35℃、湿度: 30~85 %R.H. (結露無き事)	
データ保持期間	14 日 (メモリがいっぱいの場合はオーバーライト)	
トランスミッターと接続可能な機器数	1 台	
使用する乾電池 (同梱されていません)	単 3 形アルカリ乾電池 x 4 本	
ACアダプター (付属品)	入力電圧	100 - 240 V AC
	入力周波数	50 Hz / 60 Hz
	出力電圧	5 V
	最大消費電力	最大 10 W

◎製品改良のため、予告なく仕様を変更する場合があります。*: GEN.3-2-1 機器 の分類は P.7 をご覧ください。

■ 機器構成

製品種類	接続方法	製品								オプション								
		トランスミッター	USBケーブル (付属)	ACアダプター (付属)	インターフェースボード	デジタル PT センサー	デジタルサーミスタ センサー	アナログ コンバータ	センサーボルト	トランスミッター	USBケーブル (付属)	ACアダプター (付属)	インターフェースボード	デジタル PT センサー	デジタルサーミスタ センサー	アナログ コンバータ	センサーボルト	
GEN.3 機器	デジタル接続	●	●	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
GEN.2 機器	デジタル接続	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
GEN.1 機器	センサー接続	●	●	●	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■ ラボ固有のニーズを満たす柔軟なサブスクリプションプラン

「BASIC」「EXPERT」ふたつのプランを用意しています。EXPERTプランでは、証跡記録 (Audit Trail) 機能によるペーパーレス化を実現、FDA 21CFR Part11のサポートも可能です。

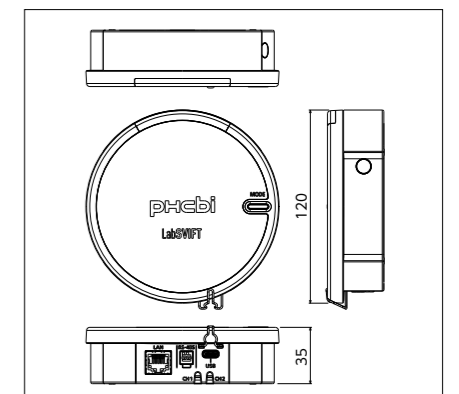
導入プラン	BASIC	EXPERT
推奨用途	モニタリングを基本に、日常的なラボ機器管理機能を求めるユーザー向け	コンプライアンス対応を重視し、監査証跡管理まで求めるユーザー向け
サブスクリプション価格 (税別) トランスミッター1台あたり	18,000 円/年	24,000 円/年
◎期間	4月～翌年3月末まで 契約期間が1年に満たない場合は月割り	
データ閲覧期間	5年	
データの保存先	クラウド ◎ネットワーク・クラウドダウン時はトランスミッターへ14日間保存	
アラート通知機能	Eメール/SMS/モバイルアプリ通知に加え、自動音声で設定済みの電話番号へ即時通知	
チケット機能	●	
ヘルスチェック機能	● (対応機種のみ)	
証跡記録 (Audit Trail)	-	●
ドキュメント管理 (アップロード機能)	-	●
機器の取扱説明書リンク提供	●	

オプション

※オプションの取付費・サービス出張費については当社へお問い合わせ下さい

- **インターフェースボード MTR-480-PW**
メーカー希望小売価格: 48,000円(税別)
外形寸法: 幅74 mm x 奥行63 mm x 高さ58 mm
出力端子: RS-232C D-sub 9ピンコネクタ
RS-485 2Pネジ端子 (M3ネジ)
電源: DC 5 V (据付機器より供給)
製品質量: 0.2 kg
付属品: RS-485接続ケーブル (2 m) 固定ネジM4 x10 mm (4本)
◎LabSVIFTトランスミッターとはRS-485接続のみ
- **デジタルPTセンサー MTR-DPT-PW**
メーカー希望小売価格: 44,000円(税別)
入力電圧: 5 V DC、トランスミッターに接続
測定範囲: -200℃ ~ 200℃
精度: 本体温度: 20~30℃
±0.4℃ ± 1 digit (-100~100℃)
±0.6℃ ± 1 digit (-200~100, 100~200℃)
本体温度: 0~20℃、30~35℃
±0.5℃ ± 1 digit (-100~100℃)
±0.6℃ ± 1 digit (-200~-100, 100~200℃)
分解能: 0.1℃
- **デジタルサーミスタセンサー MTR-DTM-PW**
メーカー希望小売価格: 22,000円(税別)
入力電圧: 5 V DC、トランスミッターに接続
測定範囲: -40℃ ~ 85℃
精度: 本体温度: 0~35℃
±0.3℃ ± 1 digit (0~40℃)
±0.7℃ ± 1 digit (-40~0, 40~85℃)
分解能: 0.1℃
- **アナログコンバータ MTR-ANACON-PW**
メーカー希望小売価格: 13,000円(税別)
入力電圧: 5 V DC、トランスミッターに接続
測定範囲: 0-5 V
精度: ±0.003 V DC ± 0.1 %rdg
分解能: 0.001 V DC
- **センサーボルト MTR-TMB-PW**
メーカー希望小売価格: 15,000円(税別)

■ 外観図 単位:mm



信頼と実績で **5年保証**
製品本体
https://www.phchd.com/jp/biomedical/about-phcbi/warranty
◎トランスミッター: MTR-IOTWE1 が対象です

PC アプリ仕様



■ PCアプリ

- ① モニタリング ダッシュボードやフロアマップで機器を可視化し、登録済み機器の状態を確認できます。
- ② メッセージ 各種イベントログや通知を一括表示します。
- ③ チケット管理 機器の異常発生時の対応状況を管理します。
- ④ To Do 管理 機器に関連する作業タスクを登録・管理します。
- ⑤ ヘルスチェック 機器の状態やコンディションを確認できます。
- ⑥ ドキュメント管理 各種ドキュメントのフォルダ管理やダウンロード、名称変更、削除を行います。
- ⑦ ロケーションツリー ロケーションや機器を選択して、ダッシュボード画面や機器モニタリング画面に移動できます。
- ⑧ ダッシュボード 選択したロケーション内の機器一覧を表示。
- ⑨ 機器ステータス ロケーション内の機器ステータスをサマリー表示。

■ Webアプリ画面構成

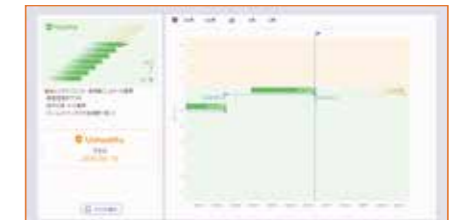
LabSVIFT 専用の Web サービス。ダッシュボードでは、機器のリアルタイムモニタリング、ラボ管理の追跡などが可能です。機器のパラメータ、ログ、通知、グラフをすぐに確認でき、業務効率化に貢献します。



モニタリングトップ画面

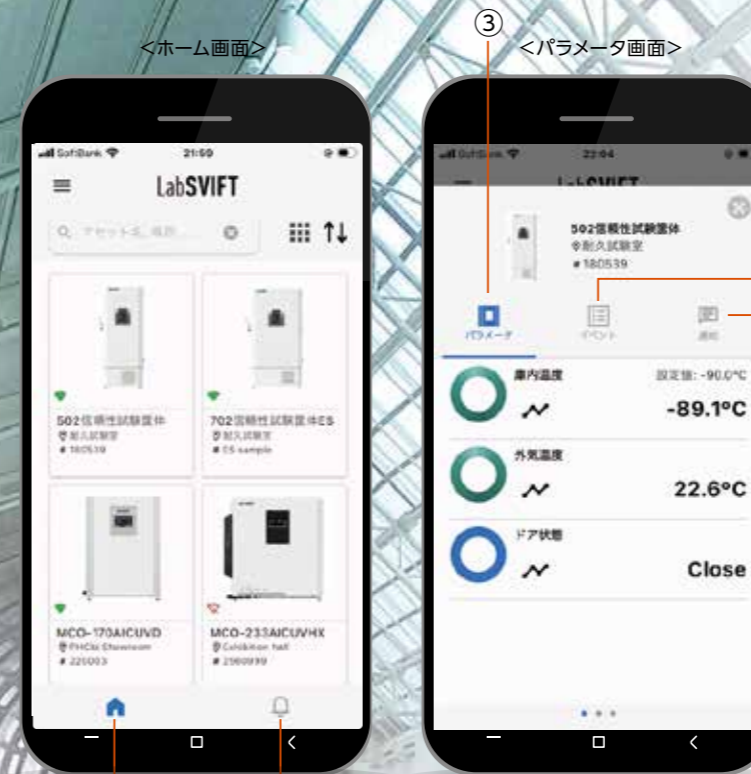


モニタリング画面



ヘルスチェック画面

モバイル アプリ仕様



通知履歴



イベント履歴



■ モバイルアプリ

- ① ホーム 登録済み機器一覧が確認できます。
- ② メッセージ 各種イベントログや通知を一括表示します。
- ③ パラメータ 庫内温度、CO₂濃度、外気温度、ドア開閉状態など、機器の稼働状況をリアルタイムでモニタリング可能。重要な環境データを正確に把握・管理できます。
- ④ イベント 機器で発生したイベント履歴を記録。例えば、「いつドアが開閉されたか」など、イベント状況を詳細に確認できるため、トラブルの原因特定やセキュリティ管理などに役立ちます。
- ⑤ 通知 モニタリング機器、ネットワークの異常発生など、重要な事象を即時プッシュ通知でお知らせ。迅速な対応をサポートし、安心の運用を実現します。機器で発生したイベント履歴を記録。例えば、「いつ温度異常が発生したか」など、イベント状況を詳細に確認できるため、トラブルの原因特定やセキュリティ管理などに役立ちます。